健康福祉局 資　　料	No. 2

令和８年３月５日
課　名　健康福祉局医療機能強化推進課
担当者　課長　石村
内　線　3086

地方独立行政法人広島県立病院機構に係る
令和８年度の年度計画（案）について

１　要旨・目的

令和７年４月１日に議会の議決等を経て認可された、地方独立行政法人広島県立病院機構の第１期中期計画に基づく令和８年度の業務運営に関する計画（年度計画案）を報告する。

２　現状・背景

法人は、知事の認可を受けた中期計画に基づき、その事業年度の業務運営に関する計画（年度計画）を定め、当該年度計画を知事に届け出るとともに、公表しなければならないとされている。（地方独立行政法人法第 27 条）

３　令和８年度年度計画（案）の概要

(1)　計画期間

令和８年４月１日から令和９年３月 31 日（１年間）

(2)　策定に当たってのねらい

地方独立行政法人のメリットを活かして県立病院間の経営資源の再配置や経営企画部門の体制強化などにより一層の経営改善に取り組むとともに、新病院開設を見据えて救急医療や小児医療の強化、専門研修プログラムの開発など、全国トップレベルの高度急性期医療と人材確保・育成体制の整備に向けて進捗を図る。

(3)　主な内容（詳細別紙）

項　目	令和８年度（案）の主な取組内容
高度医療・人材育成拠点の整備	○「断らない救急」体制の構築 ・救急部門に関わる医療スタッフ必要数の確保に向けた具体策の検討 ○幅広い疾患に対応する「こども病院」 ・舟入市民病院の機能移管に向けた医療スタッフへの研修実施 ・小児 ER 機能の整備に向けた段階的な運用開始 ○最新の集学的ながん医療 ・手術室及び化学療法室の効率的な運用に向けた課題整理と改善策の検討 ○高度急性期医療を担う人材確保・育成 ・キャリアサポートセンター設置に向けた課題整理 ○地域医療を担う人材確保・育成 ・総合診療医の確保に向けた広島大学病院総合診療医センターとの連携体制の構築 ○周辺の医療機関と連携した地域完結型医療 ・医療機能連携協定を締結した各医療機関と連携項目についてワーキング等にて適宜協議

高度医療・人材育成拠点の整備	○医療 DX の推進 ・AI による診療・看護・医療事務業務支援について、業務のデモ等を通した評価実施 ○安定的な経営基盤の構築 ・医療機器・医薬品・試薬の共同交渉による購入費の削減、委託業務の見直しによる委託料の低廉化　　等
県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	○県立広島病院 ・総合診療医の確保及び育成による総合診療体制の充実・強化 ・ハイブリッド手術室の整備に伴う TAVI（経カテーテル的弁置換術）の必要症例数の確保に向けた体制強化 ○県立安芸津病院 ・地域包括ケア病床の活用など、地域の医療ニーズに即した病棟看護体制の検討 ○県立二葉の里病院 ・救急体制の確保による救急車受入台数の増加　　等
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	・ＴＱＭ（トータル・クオリティ・マネジメント）、５Ｓ活動、業務改善アワードなどの業務改善の継続 ・タスクシフト・タスクシェアの推進による医療職の働き方改革に向けた課題の改善策の検討　　等
財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	・収入改善目標の設定や定期的モニタリングによる診療科別損益の改善 ・広島病院における西７病棟の早期再開と安定稼働 ・広島大学との調整内容を踏まえた広島病院における医師確保や研修プログラムの充実 ・広島病院と二葉の里病院における診療科連携の強化　　等
その他業務運営に関する事項	・適切な業務遂行に向けた定期監査及び臨時監査の実施　　等

４　スケジュール

区　分	令和６年度	令和７年度	令和８年度
中期目標	● 12 月策定		
中期計画	● 4 月 1 日議決・認可		
年度計画	● 計画策定※１	令和７年度　年度計画 ● 計画策定※１	令和８年度　年度計画
評価委員会			●業務実績の評価※２ ↓ 県議会への報告

※１　年度計画については、年度中途でも必要に応じて見直しを行う。

※２　各事業年度の計画策定及び業務実績評価については毎年度実施する。

５　予算額（一部国庫）

令和７年度当初予算額　67,073,308 千円（債務負担行為額　1,249,000 千円）

６　その他

高度医療・人材育成拠点の整備について（広島県 HP）

https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/276/koudoiryou-jinzaiikuseikyoten.html

（※高度医療・人材育成拠点基本計画や基本構想、各種会議資料などを掲載）

地方独立行政法人広島県立病院機構について（法人 HP）

https://hpho.jp/

（※機構概要、病院紹介などを掲載）

別紙

年度計画（案）対比表

令和７年度　年度計画

第１　年度計画の期間

令和７年４月１日～令和８年３月 31 日までの１年間とする。

第２　高度医療・人材育成拠点の整備

（1）　高度急性期を中心とした医療機能

ア　「断らない救急」体制の構築

①　救急部門の運営に必要な必要医療機器等の精査

②　輪番病院との役割分担の整理及びウォークイン受け入れ施設の充実・強化に向けた関係者との合意形成

③　他院と連携した病床管理に関するシステムの仕様策定

④　特定行為パッケージ研修の実施に向けた課題整理

⑤　救急部門に関わる医療スタッフ必要数の精緻化、救急救命士増員及び各診療科との合意形成

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
救急搬送患者応需率	85.4%	88.0%		92.0%
救急車受入台数	8,941 台	9,580 台		6,360 台

イ　幅広い疾患に対応する「こども病院」

①　小児集中治療室（ＰＩＣＵ）に必要な医療機器等の精査

②　ＰＩＣＵ立ち上げに向けた連携施設の選定及び訪問

③　不妊治療に関わる先進医療の充実に向けた課題整理（施設基準等の確認）

④　児童・思春期症例に関わる医療機関との連携方法の在り方検討

⑤　小児医療を提供する基幹病院等との協議による役割分担の方向性に関する関係者との合意形成

⑥　舟入市民病院の機能移管に向けた医療スタッフへの研修開始

⑦　小児医療に関わる医療スタッフ必要数の精緻化

⑧　ＰＩＣＵ立ち上げに関する先進医療機関への研修計画の概要策定

令和８年度　年度計画（案）

第１　年度計画の期間

令和８年４月１日～令和９年３月 31 日までの１年間とする。

第２　高度医療・人材育成拠点の整備

（1）　高度急性期を中心とした医療機能

ア　「断らない救急」体制の構築

①　救急部門の運営に必要な医療機器等の精査

②　輪番病院との役割分担の整理及びウォークイン受け入れ施設の充実・強化に向けた関係者との合意形成

③　他院と連携した病床管理に関するシステムの導入検討

④　特定行為パッケージ研修及び区分別研修の実施に向けた課題整理及び改善策の検討

⑤　救急部門に関わる医療スタッフ必要数の確保に向けた具体策の検討

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
救急搬送患者応需率※１	81.3%	91.0%
救急車受入台数※２	9,401 台 （広島病院：7,433 台、安芸津病院：387 台、二葉の里病院：1,581 台）	10,130 台 （広島病院：8,150 台、安芸津病院：380 台、二葉の里病院：1,600 台）

※１救急搬送患者応需率は第三次救急に対するもの

※２救急車受入台数は３病院の合計

イ　幅広い疾患に対応する「こども病院」

①　小児集中治療室（ＰＩＣＵ）に必要な医療機器等の精査

②　ＰＩＣＵ立ち上げに向けた地域の医療機関との連携強化

③　不妊治療に関わる先進医療の充実に向けた課題整理

④　児童・思春期症例に関わる医療機関との連携方法の在り方検討

⑤　小児 ER 機能の整備に向けた段階的な運用開始

⑥　舟入市民病院の機能移管に向けた医療スタッフへの研修実施

⑦　小児医療に関わる医療スタッフ必要数の確保に向けた具体策の検討

⑧　レスパイト入院の導入に向けたメディカルチェック入院（小児在宅医療患者の検査入院）の拡大

別紙

令和７年度　年度計画

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
トリアージ研修受講看護師	０人	４人		２人
小児医療に関わる先進医療機関を訪問し、成果や課題を共有・検討した回数	２回	２回		２回
小児科救急車受入台数（夜間）				18 台
小児科救急車受入台数（休日）				60 台
小児科紹介患者数				528 人

ウ　最新の集学的がん医療

①　最新の集学的治療を提供するために必要な医療機器の精緻化
②　手術室及び化学療法室の効率的な運用に向けた課題整理と基本方針の策定
③　がん遺伝子パネル検査の増加とエキスパートパネルを活用したがん医療の更なる高度化
④　診療科横断的ながん治療体制（キャンサーボード）に向けた院内協議による課題整理
⑤　広島大学との治験、臨床研究における連携体制の在り方策定
⑥　地域の医療機関や健診センターとの連携の充実に向けた訪問活動
⑦　がん医療に関わる医療スタッフ必要数の精緻化

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
新規がん登録件数	2,979 件	3,000 件		調査中

エ　新興・再興感染症への対応

①　第二種感染症指定医療機関として必要な感染症病床の設備等の精緻化
②　感染症対策連携協議会における新病院の感染症医療上の位置づけに関する合意形成
③　感染症疑似患者の診療を想定したゾーニング（動線）の精緻化
④　ハイレベルな院内感染対策等を行う医療機関への視察及び連携体制の構築
⑤　感染症流行時の病床運用の基本方針等策定
⑥　独立した感染症部門設置に向けた在り方策定
⑦　感染症流行時を想定した訓練の質向上に向けた課題整理
⑧　感染症対応の中核となる医療スタッフ必要数の精緻化

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
ハイレベルな院内感染対策等を行う医療機関を視察し、成果や課題を共有・検討した回数	０回	２回		０回

令和８年度　年度計画（案）

【指標】

項　目		令和６年度実績	令和８年度目標
トリアージ研修受講看護師※		０人	２人
小児科救急車受入台数	夜間（17：15～8：29）	21 台	100 台
	休日（土・日・祝）	28 台	90 台
小児科紹介患者数		521 人	744 人

※小児救急患者へのトリアージに関する研修を受講した看護師

ウ　最新の集学的がん医療

①　最新の集学的治療を提供するために必要な医療機器の精査
②　手術室及び化学療法室の効率的な運用に向けた課題整理と改善策の検討
③　がん遺伝子パネル検査の増加とエキスパートパネルを活用したがん医療の更なる高度化
④　診療科横断的ながん治療体制（キャンサーボード）に向けた院内協議による課題整理
⑤　広島大学との治験、臨床研究における連携体制の在り方策定
⑥　地域の医療機関や健診センターとの連携の充実に向けた訪問活動
⑦　がん医療に関わる医療スタッフ必要数の確保に向けた具体策の検討

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
新規がん登録件数※	3,020 件 （広島病院：2,210 件、二葉の里病院：810 件）	3,100 件 （広島病院：2,250 件、二葉の里病院：810 件）

※広島病院、二葉の里病院の合計

エ　新興・再興感染症への対応

①　第二種感染症指定医療機関として必要な感染症病床の設備等の精緻化
②　感染症対策連携協議会における新病院の感染症医療上の位置づけに関する合意形成
③　感染症疑似患者の診療を想定したゾーニング（動線）の精緻化
④　ハイレベルな院内感染対策等を行う医療機関への視察及び連携体制の構築
⑤　感染症流行時の病床運用の基本方針等策定
⑥　独立した感染症部門設置に向けた在り方策定
⑦　感染症流行時を想定した訓練の質向上に向けた課題整理
⑧　感染症対応の中核となる医療スタッフ必要数の確保に向けた具体策の検討

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
ハイレベルな院内感染対策等を行う医療機関を視察し、成果や課題を共有・検討した回数	０回	２回

別紙

令和７年度　年度計画

オ　災害対応
① 災害時の患者受入れに必要なトリアージスペース等の確認及び設計図面の必要に応じた見直し
② 新病院の機能不全時を想定した地域の医療機関との連携の在り方策定
③ 災害対応マニュアル及びシミュレーション訓練の質向上に向けた課題整理
④ ＤＭＡＴ５隊編成を目指した必要人員の精緻化及び研修計画作成

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
新病院機能不全時の対策に関する広島大学病院との協議回数	０回	２回		０回

カ　各診療領域における高度急性期を中心とする拠点の整備
① 高度医療の提供に必要な医療機器等の精緻化
② 既存の専門チームの体制の改変も含めた新病院における専門チーム編成の精緻化
③ 患者情報の共有やクリニカルパスの充実に向けた関係医療機関との協議
④ 高難度治療実施に向けた各学会の施設基準等の調査と課題整理
⑤ 手術室の効率的運用に向けた課題整理と一部施策の実施
⑥ 周辺医療機関との役割分担に向けた協議実施（再掲）
⑦ 各診療科、各部門における医療スタッフ必要数の精緻化
⑧ 専門研修プログラムの充実に向けた課題整理と関係医療機関との調整

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
ロボット支援手術件数	199 件	285 件		219 件

(2)　医療人材育成機能
ア　高度急性期医療を担う人材確保・育成
① シミュレーションセンターに必要な医療機器等の精査
② 現状の研修プログラムの充実に向けた課題整理
③ 多様な勤務形態の検討に向けた事例調査及び制度概要設計
④ 教育部門によるキャリアサポートセンターの在り方検討
⑤ 高難度治療実施に向けた各学会の施設基準等の調査及び課題整理
⑥ 専門研修プログラムの充実に向けた課題整理と関係医療機関との調整
⑦ 教育部門による学会や資格取得に向けた研修等に対する支援方法の改善
⑧ 教育部門の中核となる人材の処遇改善を含めた在り方検討

令和８年度　年度計画（案）

オ　災害対応
① 災害時の患者受入れに必要なトリアージスペース等の確認
② 新病院の機能不全時を想定した地域の医療機関との連携の在り方策定
③ 災害対応マニュアル及びシミュレーション訓練の質向上に向けた課題整理
④ ＤＭＡＴ５隊編成を目指した必要人員の確保に向けた具体策の検討及び研修計画作成

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
新病院機能不全時の対策に関する広島大学病院との協議回数	０回	２回

カ　各診療領域における高度急性期を中心とする拠点の整備
① 高度医療の提供に必要な医療機器等の精査
② 既存の専門チームの体制の改変も含めた新病院における専門チーム編成の精緻化
③ 患者情報の共有やクリニカルパスの充実に向けた関係医療機関との協議
④ 高難度治療実施に向けた各学会の施設基準等の調査と課題整理
⑤ 手術室の効率的運用に向けた課題整理と一部施策の実施
⑥ 周辺医療機関との役割分担に向けた協議実施
⑦ 各診療科、各部門における医療スタッフ必要数の確保に向けた具体策の検討
⑧ 専門研修プログラムの充実に向けた関係医療機関との調整

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
救急車受入台数※	9,014 台 （広島病院：7,433 台、二葉の里病院：1,581 台）	9,750 台 （広島病院：8,150 台、二葉の里病院：1,600 台）
全身麻酔手術件数※	6,156 件 （広島病院：4,796 件、二葉の里病院：1,360 件）	6,230 件 （広島病院：4,850 件、二葉の里病院：1,380 件）
ロボット支援手術件数※	249 件 （広島病院：209 件、二葉の里病院：40 件）	360 件 （広島病院：240 件、二葉の里病院：120 件）

※広島病院、二葉の里病院の合計

(2)　医療人材育成機能
ア　高度急性期医療を担う人材確保・育成
① シミュレーションセンターに必要な医療機器等の精査
② 現状の研修プログラムの充実に向けた課題の改善策の検討
③ 多様な勤務形態に対応した制度概要の設計
④ キャリアサポートセンター設置に向けた課題整理
⑤ 高難度治療実施に向けた各学会の施設基準等の調査及び課題整理（再掲）
⑥ 専門研修プログラムの充実に向けた関係医療機関との調整（再掲）
⑦ 教育部門による学会や資格取得に向けた研修等に対する支援の実施
⑧ 教育部門の中核となる人材確保に向けた課題整理

別紙

令和７年度　年度計画

⑨　教育部門による指導者研修プログラムの開発に向けた事例調査、指導者に対する評価方法の事例調査及び制度設計
⑩　特定行為パッケージ研修の実施に向けた課題整理（再掲）
⑪　各診療科、各部門における医療スタッフ必要数の精緻化（再掲）
⑫　病院総合医の育成実績のある有力医療機関と連携した人材確保
⑬　広報部門によるＳＮＳやレジナビなどを利用した広報戦略方針の検討

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
先進施設を訪問し、勤務形態や人材育成等に関する成果や課題を共有・検討した回数	２回	３回		３回

イ　地域医療を担う人材確保・育成
①　中山間地域に勤務する医療スタッフに対する人事交流、研修実施等へのニーズの具体化及び課題整理
②　専門研修プログラム（総合診療）の充実に向けた課題整理と一部施策の改善
③　専門研修プログラム（各領域）の充実・整備における中山間地域との連携の在り方策定
④　多様な勤務形態の検討に向けた事例調査及び制度概要設計
⑤　教育部門によるキャリアサポートセンターの在り方検討
⑥　新・家庭医プログラム専門研修等の整備に向けた要件及び課題整理
⑦　教育部門による学会や資格取得に向けた研修等に対する支援方法の改善
⑧　新病院開院時における広島大学病院総合診療医センターとの連携の在り方検討
⑨　教育部門の中核となる人材の在り方検討
⑩　教育部門による指導者研修プログラムの開発に向けた事例調査、指導者に対する評価方法の事例調査及び制度設計

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
専門研修プログラム（総合診療）選択人数	０人	２人		０人
中山間地域の医療機関との研修プログラム充実に向けた協議回数	０回	３回		１回

ウ　病院経営を担う人材の確保・育成
①　病院経営に関連した専門資格の取得や大学院等が開講する専門課程、公開講座等の情報収集及びスタッフの受講奨励に必要な経済的支援の計画策定
②　ＢＩツールの導入・活用に向けた先進事例調査及び自組織内のニーズの具体化

令和８年度　年度計画（案）

⑨　教育部門による指導者研修プログラムの開発及び指導者に対する評価方法の制度設計に向けた課題整理
⑩　特定行為パッケージ研修及び区分別研修の実施に向けた課題整理及び改善策の検討（再掲）
⑪　各診療科、各部門における医療スタッフ必要数の確保に向けた具体策の検討（再掲）
⑫　病院総合医の育成実績のある有力医療機関と連携した人材確保
⑬　広報部門によるＳＮＳやレジナビなどを利用した広報戦略方針の検討

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
先進施設を訪問し、勤務形態や人材育成等に関する成果や課題を共有・検討した回数	６回	６回
専門研修プログラム数	３個	５個

イ　地域医療を担う人材確保・育成
①　中山間地域に勤務する医療スタッフに対する人事交流、研修実施等へのニーズの具体化及び課題整理
②　専門研修プログラム（総合診療）の充実に向けた課題整理と一部施策の改善
③　専門研修プログラム（各領域）の充実・整備における中山間地域との連携の課題整理
④　多様な勤務形態に対応した制度概要の設計（再掲）
⑤　キャリアサポートセンター設置に向けた課題整理（再掲）
⑥　新・家庭医プログラム専門研修等の整備に向けた具体策の検討
⑦　教育部門による学会や資格取得に向けた研修等に対する支援の実施（再掲）
⑧　総合診療医の確保に向けた広島大学病院総合診療医センターとの連携体制の構築
⑨　教育部門の中核となる人材確保に向けた課題整理（再掲）
⑩　教育部門による指導者研修プログラムの開発及び指導者に対する評価方法の制度設計に向けた課題整理（再掲）

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
専門研修プログラム（総合診療）選択人数	０人	２人
中山間地域の医療機関との研修プログラム充実に向けた協議回数	０回	３回

ウ　病院経営を担う人材の確保・育成
①　病院経営に関連した専門資格の取得や大学院等が開講する専門課程、公開講座等の受講奨励に必要な経済的支援の実施
②　ＢＩツールの活用に向けた先進事例調査及び自組織内のニーズの具体化

別紙

令和７年度　年度計画

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
専門資格※新規合格者数	―	３人		調査中（５人受講中）

※病院経営管理士、医療経営士、医業経営コンサルタント等

(3)　広島県の医療提供体制を支える機能

ア　県内の拠点病院等との連携

①　地域の拠点病院との連携（カンファレンス、人定交流）のニーズの具体化、在り方策定

②　遠隔診療等に必要な医療機器の精緻化

③　広島大学との役割分担に向けた協議実施及び基本方針の策定

④　地域の医療機関との連携を強化する専門人材の具体化及び必要数の精緻化

⑤　高度急性期の提供に資する医療スタッフ及び新病院で確保・育成すべき中山間地域等の医療を維持するための人材必要数の精緻化

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
拠点病院との連携に関する協議回数	０回	３回		１回
広島大学と連携に関する協議回数	０回	３回		３回

イ　周辺の医療機関と連携した地域完結型医療

①　救急部門の運営や高度医療の提供に必要な設備・医療機器等の精査

②　病院間連携におけるニーズや課題に関する地域の医療機関との協議

③　既存病院における令和８年度のシステム導入を視野に入れた先進事例の視察

④　基幹病院連携に関する意見交換会を通じた広島都市圏における課題の共有及び連携可能な診療領域、医療機能の具体化

⑤　協議会設置に向けた関係者との協議及び運営方針や会議頻度、役割分担等に関する計画策定（ネットワーク構築）

⑥　周術期支援センター等の機能充実に向けた患者総合支援センターの組織体制の具体的な検討

⑦　地域の医療機関との患者紹介、逆紹介における現在の状況把握と課題整理

⑧　専任スタッフ配置の具体的な検討及び必要性とタイミングを考慮した効果的な訪問活動の計画策定

令和８年度　年度計画（案）

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
専門資格※新規合格者数	―	３人

※病院経営管理士、医療経営士、医業経営コンサルタント等

(3)　広島県の医療提供体制を支える機能

ア　県内の拠点病院等との連携

①　地域の拠点病院との連携（カンファレンス、人的交流）のニーズの具体化、在り方策定

②　遠隔診療等に必要な医療機器の精査

③　広島大学との役割分担に向けた協議実施及び基本方針の策定

④　地域の医療機関との連携を強化する専門人材必要数の確保に向けた具体策の検討

⑤　高度急性期の提供に資する医療スタッフ及び新病院で確保・育成すべき中山間地域等の医療を維持するための人材必要数の確保に向けた具体策の検討

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
拠点病院との連携に関する協議回数※１	２回	３回
広島大学と連携に関する協議回数※２	２回	３回

※１広島都市圏における基幹病院等連携に関する協定に基づく会議

※２広島大学との高度医療・人材育成拠点の整備に関する協定に基づく会議

イ　周辺の医療機関と連携した地域完結型医療

①　救急部門の運営や高度医療の提供に必要な設備・医療機器等の精査

②　病院間連携におけるニーズや課題に関する地域の医療機関との協議

③　既存病院における令和８年度のシステム導入を視野に入れた先進事例の視察、補助金活用の模索

④　基幹病院連携に関する意見交換会を通じた広島都市圏における課題の共有及び連携可能な診療領域、医療機能の具体化

⑤　医療機能連携協定を締結した各医療機関と連携項目についてワーキング等にて適宜協議

⑥　周術期支援センター等の機能充実に向けた患者総合支援センターの組織体制の具体的な検討

⑦　地域の医療機関との患者紹介、逆紹介における現在の状況把握と課題整理

⑧　専任スタッフ配置の具体的な検討及び必要性とタイミングを考慮した効果的な訪問活動の計画策定

別紙

令和７年度　年度計画

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
地域医療従事者を対象とした研修会	―	４回		21 回
地域の医療機関への訪問活動回数	329 回	350 回		268 回

(4)　その他

ア　戦略的な広報の推進

①　県民とのパブリックリレーションの構築に向けた進捗状況の確認及び課題整理

②　ホームページやＳＮＳ等での情報発信の頻度や内容精査及びレジナビへの出展等の実施と成果把握

③　地域医療機関と連携した効果的な広報手段の検討

④　計画遂行に必要な広報担当者の育成方針の検討

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
地域住民向け講座・セミナー等の実施	~~49 件~~ 45 件	~~50 件~~ 46 件		26 件
ホームページ閲覧件数	―	30,000 件		117,902 件

イ　医療ＤＸの推進

①　院内関係者による各種経営指標を可視化するＢＩツール導入に向けた検討

②　ＡＩによる放射線診療診断支援や資料作成支援等について業者のデモ等を通した業務への適用の調査

③　職員用スマートフォン配付するなど、職員間のコミュニケーションの自由度と確実性の向上に向けた仕組みの検討

④　スマートベッド等の病床管理システムの試験導入に向けた導入対象や規模などについて具体化の検討

⑤　先端技術を用いた取組による医療の質向上、経営改善などが図られた施設への視察及び事例の調査

⑥　国が進める医療ＤＸ詳細情報の適宜確認及び病院関係者等から診療情報の連携方法のニーズの深堀

⑦　最新のセキュリティ脅威に関する情報収集やＢＣＰに関するシミュレーションの実施

⑧　専用端末等を用いた呼び出しシステムによる患者の待ち時間短縮や会計後払い方法など、患者の利便性を向上させる仕組みについて業者のデモ等を通した導入の調査

⑨　必要な人材像の具体化や業務内容の精査によるＩＣＴ技術を用いたシステム化検討及び人材育成方針について検討

令和８年度　年度計画（案）

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
地域医療従事者を対象とした研修会	26 回 （広島病院：６回、二葉の里病院：20 回）	30 回 （広島病院：10 回、二葉の里病院：20 回）
地域の医療機関への訪問活動回数	354 回 （広島病院：270 回、安芸津病院：39 回、二葉の里病院：45 回）	380 回 （広島病院：290 回、安芸津病院：40 回、二葉の里病院：50 回）

(4)　その他

ア　戦略的な広報の推進

①　県民とのパブリックリレーションの継続に向けた進捗状況の確認及び課題整理

②　ホームページやＳＮＳ等での情報発信及びレジナビへの出展等の実施と成果把握

③　地域住民向け効果的な広報の実施

④　計画遂行に必要な広報担当者の育成方針の継続検討

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
地域住民向け講座・セミナー等の実施	47 件 （広島病院：９件、安芸津病院：11 件、二葉の里病院：27 件）	50 件 （広島病院：12 件、安芸津病院：17 件、二葉の里病院：21 件）
ホームページ閲覧件数※	―	177,000 件

※広島病院、二葉の里病院の合計

イ　医療ＤＸの推進

①　院内関係者による各種経営指標を可視化するＢＩツール活用に向けた検討

②　ＡＩによる診療・看護・医療事務業務支援について、業者のデモ等を通した評価（品質、安全性、工数削減、運用負荷）の実施

③　職員用スマートフォンによるコミュニケーション手段に係る利用シーン（救急、病棟、外来等）の整理、利用ルール（ＢＹＯＤ/端末管理/認証/ログ）を含む導入計画の作成

④　病床管理システム、前方連携システム等の試験導入に係る対象・規模の確定や補助金活用の可否を含めた運用面の整理、運用設計（病棟フロー、職種別運用、教育）の整理、及び段階的導入の実施

⑤　先端技術活用による医療の質向上・経営改善（スマート病棟等）に係る視察や最新事例を踏まえ、当機構への適用可能テーマの選定及び対応方針の作成

⑥　国の医療ＤＸ動向にかかる制度・標準・スケジュールの整理、優先順位及び対応方針の作成

⑦　最新のセキュリティ脅威への対応としてのＢＣＰ訓練・インシデント対応訓練の実施、課題抽出及び改善（教育・手順・体制）の実施

⑧　患者利便性向上（呼び出し・待ち時間短縮・会計後払い等）に係る対象業務及び患者動線の整理、導入方式（専用端末/スマートフォン/既存連携）の比較、試行導入の実施

⑨　医療ＤＸ推進に必要な人材像（役割・スキル・配置）の具体化、業務棚卸及びシステム化対象の整理、人材育成方針（研修計画・ＯＪＴ）の策定

別紙

令和７年度　年度計画

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
患者満足度（待ち時間）	54.1%	55.0%		広島病院 54.0% 二葉の里病院 55.9%
医師の年間時間外労働時間 960 時間以上の人数	７人	６人		調査中 （17 人見込み）

※広島病院の患者満足度（待ち時間）は、令和７年度に従来の患者満足度調査から患者経験価値調査へ変更となっていることから、「満足している」から「待ち時間が少ない」と回答した割合となっている。

ウ　積極的な臨床研究の実施

①　大学と県内の基幹病院、その他の臨床研究中核病院等における施設間連携を要するプロジェクトの進捗状況の把握及び課題整理

②　症例データの収集におけるＩＣＴ技術の全国的な利用状況の把握及びニーズの明確化

③　課題解決に必要な専門スタッフ（臨床研究コーディーネーター等）の確保及び育成人数の計画策定

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
企業治験数	25	30		29
英文論文数	25	30		調査中

エ　安定的な経営基盤の構築

①　地域医療機関への訪問及び機能分化連携による患者の確保

②　診療報酬を踏まえた適切な施設基準の届出・算定による収入確保や不要な査定・返戻の回避に向けた業務体制の構築

③　ＴＱＭ（トータル・クオリティ・マネジメント）、５Ｓ活動などの業務改善の継続

④　診療材料・薬品の適切な在庫管理と共同購入の検討

⑤　的確な投資を実施するための仕組みと効果検証の体制構築

⑥　既存病院の業務運営体制の課題検証と中期計画を達成するためのＰＤＣＡサイクルの確立

⑦　県から適切な運営費負担金を受け、中期目標達成に向けた取組を確実に実施することによる県の医療政策として求められる医療の安定的かつ継続的な提供

第３　県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

１　高度医療の安定的かつ継続的な提供と地域医療への貢献

(1)　県立広島病院

①　救急部会での救急患者受入要請の不応需事例の検証及び改善策の策定

②　看護師及び看護補助者の確保による夜勤看護体制の強化

③　救急部門と内科系診療科の連携（ベッドコントロール）の強化

④　幅広い疾患の患者に対応可能な総合診療医の確保及び育成、総合診療科及び救急科の連携による二次救急医療の提供

⑤　他の診療科との連携や対応方針を協議する脳心臓血管センターカンファレンスの実施

令和８年度　年度計画（案）

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
患者満足度（待ち時間）※	広島病院 54.1% 二葉の里病院 60.0%	55.0%
医師の年間時間外労働時間 960 時間以上の人数	11 人	６人

※広島病院の患者満足度（待ち時間）は、令和７年度に従来の患者満足度調査から患者経験価値調査へ変更となっていることから、「満足している」から「待ち時間が少ない」と回答した割合となっている。

ウ　積極的な臨床研究の実施

①　大学と県内の基幹病院、その他の臨床研究中核病院等における施設間連携を要するプロジェクトの進捗状況の把握及び課題整理

②　症例データの収集におけるＩＣＴ技術の全国的な利用状況の把握及びニーズの明確化

③　課題解決に必要な専門スタッフ（臨床研究コーディーネーター等）の確保及び育成人数の計画策定

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
企業治験数	28	30
英文論文数※	調査中	調査中

※査読のある雑誌に掲載された英文論文数

エ　安定的な経営基盤の構築

①　地域医療機関への訪問及び機能分化連携による患者の確保

②　令和８年度診療報酬改定を踏まえた適切な施設基準の届出・算定による収入確保や不要な査定・返戻の回避策の検討・実施

③　ＴＱＭ（トータル・クオリティ・マネジメント）、５Ｓ活動、業務改善アワードなどの業務改善の継続

④　医療機器・医薬品・試薬の共同交渉による購入費の削減。委託業務の見直しによる委託料の低廉化

⑤　的確な投資の実施と効果の検証

⑥　既存病院の業務運営体制の課題検証と中期計画を達成するためのＰＤＣＡサイクルの実践

⑦　県から適切な運営費負担金を受け、中期目標達成に向けた取組を確実に実施することによる県の医療政策として求められる医療の安定的かつ継続的な提供

第３　県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

１　高度医療の安定的かつ継続的な提供と地域医療への貢献

(1)　県立広島病院

①　救急部会での救急患者受入要請の応需率向上策の更なる検討

②　看護師及び看護補助者の確保による夜勤看護体制の一層の強化

③　救急部門と各診療科の連携の一層の強化

④　総合診療医の確保及び育成による総合診療体制の充実・強化

⑤　他の診療科との連携や対応方針を協議する脳心臓血管センターカンファレンスの継続実

別紙

令和７年度　年度計画

⑥　ハイブリッド手術室の整備に伴うＴＡＶＩ（経カテーテル的弁置換術）の施設認定に向けた心臓血管外科医の確保や必要症例数の充足
⑦　新たに導入した最新のアブレーション治療機器を活用した心疾患治療体制の強化
⑧　看護師、助産師、理学療法士、臨床心理士など多職種協働による出産・産後の心理的ケアなど、専門性が発揮できる周産期医療の実施
⑨　遺伝子解析を活用した診断に基づく最適治療の実施及び手術支援ロボットの手術セットの追加した効率的な運用によるロボット手術件数の増加
⑩　複数診療科・多職種にまたがる定期的なカンファレンスの実施
⑪　地域における救急医療の提供、紹介患者に必要な医療の提供、開放病床、医療機器等の共同利用等について地域のかかりつけ医等関連保険医療機関と連携した地域医療の円滑な運営の支援
⑫　看護師を含め必要な人材を確保するなど各診療科医療スタッフ及び部門別医療スタッフ必要数について現場の状況を踏まえた精緻化
⑬　休日の病床稼働向上に向けた救急受入体制の強化
⑭　社会人採用の強化及び中電病院を含む関係病院からの看護師派遣等による段階的な稼働病床の拡大

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
救急車受入台数（再掲）	7,141 台	7,600 台		5,227 台
紹介率	96.3%	96.3%		95.5%
逆紹介率	148.2%	148.2%		142.1%
三次救急（ホットライン）受入率	85.4%	88.0%		92.0%
緊急母体搬送受入件数	143 件	150 件		97 件
院内がん登録件数（暦年）	2,222 件	2,250 件		1,565 件
がんゲノムプロファイリング件数	184 件	155 件		55 件
全身麻酔手術件数	4,662 件	4,800 件		3,199 件
ロボット支援手術件数	199 件	210 件		159 件

(2)　県立安芸津病院
①　法人内での職員派遣等の連携強化による専門医療提供体制及び救急受入体制の強化
②　強みの一つである整形外科領域の機能充実に向けたＭＲＩの積極的な活用による高精度かつ安全な医療の提供
③　救急隊との受入可能症例の共有などによる救急患者の積極的な受入れ
④　専門外来や整形外科によるアウトリーチクリニックなどの専門性及び機能を生かした地域での医療提供
⑤　ケアマネージャーとの連携による在宅医療や訪問看護の利用の促進及び退院前・退院後訪問のフォローによる退院後の不安を軽減する取組の継続

令和８年度　年度計画（案）

施
⑥　ハイブリッド手術室の整備に伴うＴＡＶＩ（経カテーテル的弁置換術）の必要症例数の確保に向けた体制強化
⑦　最新のアブレーション治療機器を活用した心疾患治療体制の強化
⑧　看護師、助産師、理学療法士、臨床心理士など多職種協働による出産・産後の心理的ケアなど、専門性が発揮できる周産期医療の充実
⑨　遺伝子解析を活用した診断に基づく最適治療の実施及び手術支援ロボットの手術セットの追加した効率的な運用によるロボット手術件数の増加及び手術症例数の拡大
⑩　複数診療科・多職種にまたがる定期的なカンファレンスの継続実施
⑪　地域における救急医療の提供、紹介患者に必要な医療の提供、開放病床、医療機器等の共同利用等について地域のかかりつけ医等関連保険医療機関と連携した地域医療の円滑な運営の支援
⑫　看護師を含め必要な人材を確保するなど各診療科医療スタッフ及び部門別医療スタッフ必要数について現場の状況を踏まえた具体策の検討
⑬　稼働病床数の向上に向けた適正な病床運用
⑭　社会人採用の強化及び中電病院を含む関係病院からの看護師派遣等による段階的な稼働病床の拡大

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
救急車受入台数（再掲）	7,433 台	8,150 台
紹介率	97.0%	96.3%
逆紹介率	146.2%	148.2%
三次救急（ホットライン）受入率	81.3%	91.0%
緊急母体搬送受入件数	137 件	150 件
院内がん登録件数（暦年）	2,210 件	2,250 件
がんゲノムプロファイリング件数	153 件	190 件
全身麻酔手術件数	4,796 件	4,850 件
ロボット支援手術件数	209 件	240 件

(2)　県立安芸津病院
①　法人内での職員派遣等の連携強化による専門医療提供体制及び救急受入体制の強化
②　整形外科領域での入院患者数、手術件数の増加に向けたＭＲＩの積極的な活用による高精度かつ安全な医療の提供
③　救急隊との受入可能症例の共有などによる救急患者の積極的な受入れや、近隣医療機関への訪問による紹介率の向上及びレスパイト入院のＰＲ強化による入院患者数の増加
④　専門外来や整形外科によるアウトリーチクリニックなど専門性を生かした地域医療の提供
⑤　地域包括ケア病床の活用など、地域の医療ニーズに即した病棟看護体制の検討
⑥　ケアマネージャーとの連携による在宅医療や訪問看護の利用促進及びステーション化に向けた体制の検討、退院前・退院後訪問によるフォローアップを継続し、在宅移行期の不

別紙

令和７年度　年度計画

⑥　地域の医療機関や介護施設との連携強化に向けた医療機関への積極的な訪問及び院内外での意見交換会の実施

⑦　健（検）診の実施体制強化に向けたオペレーションの見直し及び医療公開講座や地域イベントへの参加、地元企業や行政機関への積極的なアプローチによる受診の促進

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
救急車受入台数（再掲）	368 台	380 台		230 台
紹介率	18.3%	19.0%		21.9%
逆紹介率	24.7%	24.7%		26.7%
専門外来受診患者数	1,448 人	1,480 人		1,020 人
訪問看護件数	1,886 件	2,000 件		1,594 件
健（検）診件数	1,115 件	1,150 件		823 件

(3)　県立二葉の里病院

①　救急体制の確保による救急車受入台数の増加

②　新たに導入したロボット支援手術の活用や内視鏡センターの機能拡充等による手術症例の増加

③　専門医の配置と各科医師のバックアップによる救急体制（二次輪番を含む）の強化

④　地域の医療・介護施設との連携による診療科単位での患者の紹介・逆紹介の実施

⑤　地域の医療・介護施設との医療従事者の相互研修の実施

⑥　部門別研修の年次計画に基づく人材育成（特定医行為など）及び研修修了者による院内教育の実施

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
救急車受入台数（再掲）	1,432 台	1,600 台		903 台
紹介率	69.8%	75.0%		72.8%
逆紹介率	94.0%	95.0%		99.5%
全身麻酔手術件数	1,352 件	1,368 件		916 件
ロボット支援手術件数	0 件	75 件		60 件
内視鏡治療件数	8,511 件	8,750 件		5,885 件
化学療法件数（再掲）	1,519 件	1,666 件		1,288 件

２　患者の視点に立った医療の提供

(1)　患者にとって最適な医療の提供

①　クリニカルパス適用率の低い診療科に個別ヒアリング実施及び改善策の策定

②　クリニカルパスの入院期間の適宜見直し

令和８年度　年度計画（案）

安軽減を図る取組の継続

⑦　地域の医療機関や介護施設との連携強化に向けた医療機関への積極的な訪問及び院内外での意見交換会の実施

⑧　医療公開講座や地域イベントへの参加、地元企業や行政機関への積極的なアプローチによる健（検）診受診者数の拡大

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
救急車受入台数（再掲）	387 台	380 台
紹介率	20.5%	22.0%
逆紹介率	25.6%	25.0%
専門外来受診患者数	1,335 人	1,600 人
訪問看護件数	2,267 件	2,100 件
健（検）診件数	1,241 件	1,200 件

(3)　県立二葉の里病院

①　救急体制の確保による救急車受入台数の増加

②　新たに導入したロボット支援手術の活用や内視鏡センターの機能拡充等による手術症例の増加

③　専門医の配置と各科医師のバックアップによる救急体制（二次輪番を含む）の強化

④　地域の医療・介護施設との連携による診療科単位での患者の紹介・逆紹介の実施

⑤　地域の医療・介護施設との医療従事者の相互研修の実施

⑥　部門別研修の年次計画に基づく人材育成（特定医行為など）及び研修修了者による院内教育の実施

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
救急車受入台数（再掲）	1,581 台	1,600 台
紹介率	72.6%	75.0%
逆紹介率	96.3%	95.0%
全身麻酔手術件数	1,360 件	1,380 件
ロボット支援手術件数	40 件	120 件
内視鏡治療件数	8,783 件	8,750 件
化学療法件数	1,667 件	1,920 件

２　患者の視点に立った医療の提供

(1)　患者にとって最適な医療の提供

①　クリニカルパス適用率の向上に向けた課題の改善策の策定

②　クリニカルパスの入院期間の適宜見直し

別紙

令和７年度　年度計画

【指標】クリニカルパス適用率

病　院　名	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
県立広島病院	47.4%	46.0%		44.4%
県立安芸津病院	18.3%	18.5%		15.5%
県立二葉の里病院	49.4%	46.0%		46.0%

(2)　患者等の満足度の向上

ア　患者サービスの向上

①　患者目線での丁寧な説明及びサポートによる患者が主体となった治療の実施

②　電子カルテの活用及び診療時間の見直しなどによる待ち時間の短縮

③　プライバシーに配慮した環境の整備及び駐車場不足への対応や案内表示等の改善など、快適性に配慮した環境の整備

④　患者等からの意見・要望への適切な対応及び患者満足度向上に向けた職員の接遇研修実施の検討

⑤　療養環境改善に向けた病棟における設備等の改修

【指標】患者満足度

病　院　名	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
県立広島病院	97.1%	98.0%		95.0%
県立安芸津病院	95.0%			91.2%
県立二葉の里病院	93.7%			94.3%

※広島病院の患者満足度は、令和７年度に従来の患者満足度調査から患者経験価値調査に変更したことによりアンケート項目が変更になっている。

イ　患者支援体制の充実

①　入院サポート体制の充実に向けた連携体制等の見直し及び課題整理

②　多職種連携による入院前患者支援の継続的な実施

③　スマートフォンを活用した言語対応や案内表示等の改善

(3)　積極的な情報発信

①　県民とのパブリックリレーションの構築に向けた進捗状況の確認及び課題整理（再掲）

②　ホームページやＳＮＳ等での情報発信の頻度や内容精査及びレジナビへの出展等の実施と成果把握（再掲）

③　地域医療機関と連携した効果的な広報手段の検討（再掲）

【指標】

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
ホームページ閲覧件数（再掲）	―	30,000 件		117,902 件

令和８年度　年度計画（案）

【指標】クリニカルパス適用率

病　院　名	令和６年度実績	令和８年度目標
県立広島病院	47.4%	47.0%
県立安芸津病院	19.8%	18.5%
県立二葉の里病院	46.6%	47.0%

(2)　患者等の満足度の向上

ア　患者サービスの向上

①　患者目線での丁寧な説明及びサポートによる患者が主体となった治療の実施

②　電子カルテの活用及び診療時間の見直しなどによる待ち時間の短縮

③　プライバシーに配慮した環境の整備及び駐車場不足への対応や案内表示等の改善など、快適性に配慮した環境の整備

④　患者等からの意見・要望への適切な対応及び患者満足度向上に向けた職員の接遇研修実施

⑤　療養環境改善に向けた病棟における設備等の改修

【指標】患者満足度

病　院　名	令和６年度実績	令和８年度目標
県立広島病院	96.6%	98.0%
県立安芸津病院	92.7%	
県立二葉の里病院	93.7%	

※広島病院の患者満足度は、令和７年度に従来の患者満足度調査から患者経験価値調査に変更したことによりアンケート項目が変更になっている。

イ　患者支援体制の充実

①　入院サポート体制の充実に向けた連携体制等の見直し及び課題の改善策の検討

②　多職種連携による入院前患者支援の継続的な実施

③　スマートフォンを活用した言語対応や案内表示等の改善

(3)　積極的な情報発信

①　県民とのパブリックリレーションの構築に向けた進捗状況の確認及び課題整理（再掲）

②　ホームページやＳＮＳ等での情報発信の頻度や内容精査及びレジナビへの出展等の実施と成果把握（再掲）

③　地域医療機関と連携した効果的な広報手段の検討（再掲）

【指標】

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
ホームページ閲覧件数（再掲）	―	177,000 件

別紙

令和７年度　年度計画

３　安全・安心な医療の提供

(1)　医療安全対策の推進

①　医療事故の分析・改善策の周知及び改善、評価（ＰＤＣＡサイクル）の実践

②　職場の医療安全文化の醸成に向けた職員に対する医療安全研修内容の検討

③　感染症疑い患者の受入経路・動線・ゾーニングの適宜見直し及び防護服の備蓄

【指標】転倒・転落発生率（レベル２以上）

病院名	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
県立広島病院	0.028%	0.028%		0.023%
県立安芸津病院	~~0.026%~~ 0.272%	~~0.026%~~ 0.300%		0.305%
県立二葉の里病院	0.046%	0.045%		0.053%

(2)　適切な情報管理

①　医療情報システム管理に関するガイドライン等、国の指針や法令の情報収集及び対応方針の検討

②　情報管理への意識向上に向けた訓練メールの不定期送付などによる注意喚起の促進及び適切な情報管理・セキュリティ研修の実施

③　最新のセキュリティ脅威に関する情報収集の適宜実施及びデータバックアップの定期的なチェック等による不測事態への対応整理

４　災害や公衆衛生上の緊急事態への対応

(1)　災害医療における緊急事態への対応

①　地域の医療機関との連携による情報の収集・共有方法の確認及び見直し

②　院内災害訓練の実施及びＢＣＰ・災害対策本部運営マニュアル等の見直し

③　地域関係者を含めた訓練・研修の実施などによる危機管理体制の適宜見直し並びにＤＭＡＴ５隊編成を目指した必要人員の精緻化及び研修計画作成（一部再掲）

【指標】災害訓練の実施回数

病院名	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
県立広島病院	32 回	34 回		20 回
県立安芸津病院	２回	３回		２回
県立二葉の里病院	１回	３回		１回

(2)　公衆衛生上の緊急事態への対応

①　感染拡大時における院内組織の編成やゾーニングの見直し及び即応病床数の検討

②　ＤＭＡＴ５隊編成を目指した必要人員の精緻化及び研修計画作成（再掲）

③　感染拡大時に備えた効果的な訓練・研修の企画実施や院内における感染対策に必要な設備の見直し及び物資の確保

令和８年度　年度計画（案）

３　安全・安心な医療の提供

(1)　医療安全対策の推進

①　医療事故の分析・改善策の周知及び改善、評価（ＰＤＣＡサイクル）の実践

②　職場の医療安全文化の醸成に向けた職員に対する医療安全研修実施

③　感染症疑い患者の受入経路・動線・ゾーニングの適宜見直し及び防護服の備蓄

【指標】転倒・転落発生率（レベル２以上）

病院名	令和６年度実績	令和８年度目標
県立広島病院	0.028%	0.028%
県立安芸津病院	0.353%	0.300%
県立二葉の里病院	0.060%	0.045%

(2)　適切な情報管理

①　医療情報システム管理に関するガイドライン等、国の指針や法令の情報収集及び対応方針の検討

②　情報管理への意識向上に向けた訓練メールの不定期送付などによる注意喚起の促進及び適切な情報管理・セキュリティ研修の実施

③　最新のセキュリティ脅威に関する情報 収集の適宜実施及びデータバックアップの定期的なチェック等による不測事態への対応策の検討

４　災害や公衆衛生上の緊急事態への対応

(1)　災害医療における緊急事態への対応

①　地域の医療機関との連携による情報の収集・共有方法の確認及び見直し

②　院内災害訓練の実施及びＢＣＰ・災害対策本部運営マニュアル等の見直し

③　地域関係者を含めた訓練・研修の実施などによる危機管理体制の適宜見直し並びにＤＭＡＴ５隊編成を目指した必要人員の確保に向けた具体策の検討及び研修計画作成（一部再掲）

【指標】災害訓練の実施回数

病院名	令和６年度実績	令和８年度目標
県立広島病院	29 回	34 回
県立安芸津病院	２回	３回
県立二葉の里病院	３回	３回

(2)　公衆衛生上の緊急事態への対応

①　感染拡大時における院内組織の編成やゾーニングの見直し及び即応病床数の検討

②　ＤＭＡＴ５隊編成を目指した必要人員の精緻化及び研修計画作成（再掲）

③　感染拡大時に備えた効果的な訓練・研修の企画実施や院内における感染対策に必要な設備の見直し及び物資の確保

別紙

令和７年度　年度計画

【指標】感染症訓練の実施回数

病院名	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
県立広島病院	６回	６回		９回
県立安芸津病院	２回	３回		２回
県立二葉の里病院	５回	５回		14 回

５　医療に関する調査・研究の実施

①　ホームページ等による病院の診療実績及びマスコミ等を活用した最新の取組などのタイムリーな情報発信

②　症例データベースの構築や管理体制の充実及び症例データの効率的な収集を可能とするＩＣＴ基盤の将来的な整備に向けた広島大学との協議

第４　業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1)　業務運営体制の構築

①　業務運営体制の確立及び運営方法の検討

②　民間病院経営の経験者や会計の専門家等の外部人材の登用も含めた体制強化

③　経営課題への対応に向けた法人本部と各病院の連携体制の構築

(2)　中期目標達成に向けた取組

①　既存病院の業務運営体制の課題検証と中期計画（目標）を達成するためのＰＤＣＡサイクルの確立（再掲）

②　医療に関する知見が豊富な経営コンサルタント等の導入検討及び選定

(3)　効果的・効率的な業務運営

①　国が進める医療ＤＸ詳細情報の適宜確認及び病院関係者等から診療情報の連携方法のニーズの深堀（再掲）

②　ＴＱＭ（トータル・クオリティ・マネジメント）、５Ｓ活動などの業務改善の継続（再掲）

③　業務内容の見直しによる効率的な執行体制の構築及び委託契約内容の精査

④　業務の効率化に向けた取組の検討及び案のとりまとめ

⑤　病院経営の参画意識醸成に向けた業務改善研修の策定及び実施

⑥　的確な投資を実施するための仕組みと効果検証の体制構築（再掲）

⑦　診療報酬を踏まえた適切な施設基準の届出・算定による収入確保や不要な査定・返戻の回避に向けた業務体制の構築（再掲）

令和８年度　年度計画（案）

【指標】感染症訓練・研修の実施回数

病院名	令和６年度実績	令和８年度目標
県立広島病院	13 回	13 回
県立安芸津病院	10 回	10 回
県立二葉の里病院	14 回	14 回

５　医療に関する調査・研究の実施

①　ホームページ等による病院の診療実績及びマスコミ等を活用した最新の取組などのタイムリーな情報発信

②　症例データベースの構築や管理体制の充実及び症例データの効率的な収集を可能とするＩＣＴ基盤の将来的な整備に向けた広島大学との協議

第４　業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1)　業務運営体制の構築

①　理事会を中心とした主体的かつ迅速な業務運営の実践

②　民間病院経営や医療機器仕入交渉の経験者、会計や情報システムの専門家等の外部人材の活用による体制強化

③　経営課題への迅速な対応に向けた法人本部と各病院の連携体制の強化

(2)　中期目標達成に向けた取組

①　既存病院の業務運営体制の課題検証と中期計画（目標）を達成するためのＰＤＣＡサイクルの実践（再掲）

②　医療に関する知見が豊富な経営コンサルタント等の活用

(3)　効果的・効率的な業務運営

①　国が進める医療ＤＸ詳細情報の適宜確認及び病院関係者等から診療情報の連携方法のニーズの深堀（再掲）

②　ＴＱＭ（トータル・クオリティ・マネジメント）、５Ｓ活動、業務改善アワードなどの業務改善の継続（再掲）

③　業務内容の見直しによる効率的な執行体制の実践及び仕様見直しによる委託契約の締結

④　業務の効率化に向けた取組の検討・実施

⑤　病院経営の参画意識醸成に向けた業務改善研修の実施

⑥　的確な投資の実施と効果の検証（再掲）

⑦　令和８年度診療報酬改定を踏まえた適切な施設基準の届出・算定による収入確保や不要な査定・返戻の回避策の検討（再掲）

別紙

令和７年度　年度計画

(4)　働きやすい勤務環境の整備

①　多様な勤務形態の検討に向けた事例調査及び制度概要設計（再掲）

②　タスクシフト・タスクシェアの推進による医療職の働き方改革に向けた課題整理

③　各病院の職員に対するアンケート等による職場改善点等の洗い出し

【指標】看護師離職率

病院名	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
県立広島病院	5.4%	5.0%		1.4%
県立安芸津病院	3.8%			1.3%
県立二葉の里病院	8.6%			1.0%

【指標】医療技術職離職率

病院名	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
県立広島病院	3.6%	3.5%		0.0%
県立安芸津病院	9.5%			0.0%
県立二葉の里病院	4.3%			0.0%

第５　財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

１　収入の確保

①　各種加算の取得に繋がる国の制度変更に迅速に対応できる仕組みの構築及び診療報酬の改定

②　診療報酬制度に関する研修の実施等による適正な診療報酬請求業務専門スタッフの育成

③　クリニカルパスの入院期間及び病床規模の適宜見直し

④　地域での講演会への職員講師派遣及び医師が不足する中山間地域への人材派遣等による地域医療の確保

⑤　未収金回収担当の継続配置、弁護士法人への債権回収業務の委託継続及び未回収内容の課題整理及び改善策の策定

２　費用の適正化

①　経営の効率化に向けた医療需要の把握、医療情報による経営分析及びクリニカルパスの見直し

②　多様な病院の機能に応じた在庫の在り方検討及び共同購入や品目・仕様の共通化（後発医薬品、バイオ後続品の使用促進やフォーミュラリの活用を含む）など、購入方法の見直し

③　規模・機能の見直しに伴う職員配置の適正化

令和８年度　年度計画（案）

(4)　働きやすい勤務環境の整備

①　多様な勤務形態に対応した制度概要の設計（再掲）

②　タスクシフト・タスクシェアの推進による医療職の働き方改革に向けた課題の改善策の検討

③　各病院の職員に対するアンケート等に基づく職場改善策の実施

【指標】看護師離職率

病院名	令和６年度実績	令和８年度目標
県立広島病院	5.2%	5.0%
県立安芸津病院	1.3%	
県立二葉の里病院	7.3%	

【指標】医療技術職離職率

病院名	令和６年度実績	令和８年度目標
県立広島病院	2.6%	3.5%
県立安芸津病院	5.0%	
県立二葉の里病院	4.5%	

第５　財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

１　収入の確保

①　令和８年度診療報酬改定を踏まえた適切な施設基準の届出・算定による収入確保

②　診療報酬制度に関する研修の実施等による適正な診療報酬請求業務専門スタッフの育成

③　クリニカルパスの入院期間及び病床規模の適宜見直し

④　地域での講演会への職員講師派遣及び医師が不足する中山間地域への人材派遣等による地域医療の確保

⑤　未収金回収担当の継続配置、弁護士法人への債権回収業務の委託継続及び未回収内容の課題整理及び改善策の策定

２　費用の適正化

①　経営の効率化に向けた医療需要の把握、医療情報による経営分析及びクリニカルパスの見直し

②　多様な病院の機能に応じた在庫の在り方検討及び共同購入や品目・仕様の共通化（後発医薬品、バイオ後続品の使用促進やフォーミュラリの活用を含む）など、購入方法の見直しについて連携協定締結医療機関等と実施

③　規模・機能の見直しに伴う職員配置の適正化

別紙

令和７年度　年度計画

３　的確な投資の実施と効果の検証

①　医療需要や採算性・効率性・優先順位等を踏まえた施設・医療機器等の計画的・重点的な整備の実施

②　整備した医療機器の稼働状況や費用対効果の分析による投資効果の検証と改善策の策定

【指標】

（県立広島病院）

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
病床稼働率	78.8%	90.0%		81.1%
新規入院患者数	16,103 人	18,007 人		11,630 人
経常収支比率	96.1%	94.0%		92.8%
修正医業収支比率	91.6%	91.7%		85.2%
人件費率（対医業収益）	56.0%	48.3%		52.4%
材料費率（対医業収益）	31.7%	29.1%		33.2%

（県立安芸津病院）

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
病床稼働率	63.5%	86.7%		68.5%
新規入院患者数	986 人	1,305 人		963 人
経常収支比率	84.5%	82.7%		76.3%
修正医業収支比率	63.7%	67.8%		48.3%
人件費率（対医業収益）	86.1%	69.5%		82.8%
材料費率（対医業収益）	17.9%	17.3%		20.7%

（県立二葉の里病院）

項　目	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
病床稼働率	63.0%	74.1%		65.8%
新規入院患者数	5,122 人	6,603 人		3,448 人
経常収支比率	95.7%	100.3%		85.8%
修正医業収支比率	93.7%	100.4%		80.2%
人件費率（対医業収益）	56.5%	53.9%		65.6%
材料費率（対医業収益）	21.9%	18.8%		25.2%

令和８年度　年度計画（案）

３　的確な投資の実施と効果の検証

①　医療需要や採算性・効率性・優先順位等を踏まえた施設・医療機器等の計画的・重点的な整備の実施

②　整備した医療機器の稼働状況や費用対効果の分析による投資効果の検証と改善策の策定

４　財務内容の改善に向けた個別の取組

①　収益改善目標の設定や定期的モニタリングによる診療科別損益の改善

②　広島病院における西７病棟の早期再開と安定稼働

③　広島大学との調整内容を踏まえた広島病院における医師確保や研修プログラムの充実

④　広島病院と二葉の里病院における診療科連携の強化

【指標】

（県立広島病院）

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
病床稼働率（病床数 R6.4～R7.2/627 床、R7.3/587 床、R8.4～R8.7/627 床、R8.8～R9.3/666 床）	85.4%	88.1%
新規入院患者数	16,926 人	19,492 人
経常収支比率	96.1%	92.9%
修正医業収支比率	92.5%	89.2%
人件費率（対医業収益）	55.7%	53.6%
材料費率（対医業収益）	31.0%	30.6%

（県立安芸津病院）

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
病床稼働率（病床数 98 床）	76.7%	73.1%
新規入院患者数	1,141 人	1,030 人
経常収支比率	84.2%	79.0%
修正医業収支比率	65.1%	60.8%
人件費率（対医業収益）	83.1%	82.5%
材料費率（対医業収益）	16.8%	16.0%

（県立二葉の里病院）

項　目	令和６年度実績	令和８年度目標
病床稼働率（病床数 R6/269 床、R8/227 床）	68.2%	86.2%
新規入院患者数	5,444 人	5,712 人
経常収支比率	88.9%	88.5%
修正医業収支比率	88.2%	85.4%
人件費率（対医業収益）	56.7%	68.7%
材料費率（対医業収益）	21.8%	21.4%

別紙

令和７年度　年度計画

第６　予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

１　予算

（単位：百万円）

区分	金額
収入	
営業収益	40,485
医業収益	36,600
運営費負担金	3,525
その他営業収益	360
営業外収益	188
運営費負担金	188
その他営業外収益	0
資本収入	28,876
運営費負担金	0
長期借入金	28,848
その他資本収入	28
その他の収入	0
計	69,549
支出	
営業費用	37,309
医業費用	36,885
給与費	19,037
材料費	10,950
経費	6,699
研究研修費	200
一般管理費	423
営業外費用	750
資本支出	28,630
建設改良費	26,878
償還金	1,752
計	66,688

（注）　計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

【給与費の見積り】

期間中総額 19,460 百万円（一般管理費 423 百万円を含む。）を支出する。なお、当該額は、役員報酬並びに職員基本給、職員諸手当、退職給付金及び法定福利費等の額に相当するものである。

令和８年度　年度計画（案）

第６　予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

１　予算

(単位:百万円)

区分	金額
収入	
営業収益	39,367
医業収益	35,671
運営費負担金収益	3,595
補助金等収益	101
その他営業収益	0
営業外収益	630
運営費負担金収益	311
その他営業外収益	319
臨時利益	43
資本収入	7,113
長期借入金	6,576
運営費負担金収益	517
その他資本収入	21
計	47,153
支出	
営業費用	39,898
医業費用	38,863
給与費	21,200
材料費	11,354
経費	6,087
研究研修費	221
一般管理費	1,035
営業外費用	743
臨時損失	0
資本支出	5,180
建設改良費	3,690
償還金	1,490
計	45,821

（注）　計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

【給与費の見積り】

期間中総額 21,639 百万円（一般管理費 439 百万円を含む。）を支出する。なお、当該額は、役員報酬並びに職員基本給、職員諸手当、退職給付金及び法定福利費等の額に相当するものである。

別紙

令和７年度　年度計画

２　収支計画

(単位:百万円)

区分	金額
収入の部	40,780
営業収益	40,591
医業収益	36,600
運営費負担金収益	3,525
資産見返補助金等戻入	106
資産見返寄付金戻入	0
資産見返物品受贈額戻入	0
その他営業収益	360
営業外収益	173
運営費負担金収益	172
その他営業外収益	0
臨時利益	16
支出の部	42,849
営業費用	40,293
医業費用	39,870
給与費	19,037
材料費	9,955
経費	6,090
減価償却費	4,607
研究研修費	182
一般管理費	423
営業外費用	2,372
臨時損失	183
純利益	▲2,070
目的積立金取崩額	0
総利益	▲2,070

（注）　計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

令和８年度　年度計画（案）

２　収支計画

(単位:百万円)

区分	金額
収入の部	40,067
営業収益	39,405
医業収益	35,635
運営費負担金収益	3,595
補助金等収益	101
資産見返負債戻入	74
その他営業収益	0
営業外収益	589
運営費負担金収益	311
その他営業外収益	278
臨時利益	73
支出の部	44,712
営業費用	43,789
医業費用	41,077
給与費	21,187
材料費	10,312
経費	5,570
減価償却費	3,759
資産減耗費	29
研究研修費	221
一般管理費	1,158
控除対象外消費税	1,554
営業外費用	853
臨時損失	70
純利益	▲4,645
目的積立金取崩額	0
総利益	▲4,645

（注）　計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

別紙

令和７年度　年度計画

３　資金計画

(単位:百万円)

区分	金額
資金収入	68,632
業務活動による収入	39,050
診療業務による収入	34,978
運営費負担金による収入	3,697
その他の業務活動による収入	375
投資活動による収入	28
その他の投資活動による収入	28
財務活動による収入	28,848
長期借入れによる収入	28,848
その他の財務活動による収入	0
繰越金	706
資金支出	68,632
業務活動による支出	39,428
給与費支出	19,460
材料費支出	9,976
その他の業務活動による支出	9,993
投資活動による支出	26,878
有形固定資産等の取得による支出	26,878
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	2,088
長期借入金の返済による支出	0
移行前地方債償還債務の償還による支出	1,752
その他の財務活動による支出	336
翌事業年度への繰越金	238

（注）　計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

【適切な資金管理の実施】

組織的な資金管理体制の確立と資金の適切な状況把握により、必要となる資金の計画的な管理を実施する。

令和８年度　年度計画（案）

３　資金計画

(単位:百万円)

区分	金額
資金収入	47,787
業務活動による収入	39,580
診療業務による収入	35,186
運営費負担金による収入	3,906
その他の業務活動による収入	489
投資活動による収入	538
運営費負担金による収入	517
その他の投資活動による収入	21
財務活動による収入	6,576
長期借入れによる収入	6,576
その他の財務活動による収入	0
繰越金	1,093
資金支出	47,787
業務活動による支出	40,945
給与費支出	21,615
材料費支出	12,265
その他の業務活動による支出	7,065
投資活動による支出	3,082
有形固定資産等の取得による支出	3,082
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	2,070
長期借入金の返済による支出	0
移行前地方債償還債務の償還による支出	1,490
その他の財務活動による支出	580
翌事業年度への繰越金	1,690

（注）　計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

【適切な資金管理の実施】

組織的な資金管理体制の確立と資金の適切な状況把握により、必要となる資金の計画的な管理を実施する。

別紙

令和７年度　年度計画

第７　その他業務運営に関する事項

１　法令・社会規範の遵守

①　適切な業務遂行に向けた定期監査及び臨時監査の実施

②　コンプライアンス遵守による適正な業務運営に向けた研修の実施

２　県立安芸津病院の耐震化

①　耐震化対応実現に向けた基本設計の着手

３　地域社会への貢献

①　ホームページ、マスコミ等を活用した最新の保健医療情報などのタイムリーな情報発信

②　県民の需要の高い講座やセミナー等の情報収集

③　地域イベント等への積極的な参画

【指標】地域への啓発活動件数

病院名	令和５年度実績	令和７年度目標	※	令和７年度実績（11 月末現在）
県立広島病院	5 回	~~50 回~~ 46 回		5 回
県立安芸津病院	20 回			9 回
県立二葉の里病院	~~24 回~~ 20 回			12 回

令和８年度　年度計画（案）

第７　その他業務運営に関する事項

１　法令・社会規範の遵守

①　適切な業務遂行に向けた定期監査及び臨時監査の実施

②　コンプライアンス遵守による適正な業務運営に向けた研修の実施

２　県立安芸津病院の耐震化

①　耐震化対応実現に向けた基本設計・実施設計の実施

３　地域社会への貢献

①　ホームページ、マスコミ等を活用した最新の保健医療情報などのタイムリーな情報発信

②　県民の需要の高い講座やセミナー等の情報収集

③　地域イベント等への積極的な参画

【指標】地域への啓発活動件数

病院名	令和６年度実績	令和８年度目標
県立広島病院	9 回	50 件（広島病院：12 件、安芸津病院：17 件、二葉の里病院：21 件）
県立安芸津病院	11 回	
県立二葉の里病院	27 回	